

令和3年度 都城市立小松原中学校 学校評価書

(4段階評価 4:期待以上 3:ほぼ期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要す)

目標	数値目標	評価項目	自己評価	生徒	保護者	現状分析	次年度に向けての改善策	学校関係者評価コメント	
豊かな人間性の育成 【徳育】誠実	いじめ0(解消を含む)の達成	項目ごとの評価	言語環境の整備	2.9	3.3	3.3	<p>○ 生徒・保護者の評価と比べ、教師の自己評価が若干低い。</p> <p>○ 現在、いじめの認知件数は1件(11月認知)で経過観察中である。</p> <p>○ コミュニケーション能力の向上について、教師の評価が2.7と低くなっている。コロナ禍の関係で思うようにSSTができなかったことと関係があるのではないか。</p> <p>○ 道徳科の充実については生徒の評価が3.6と高く、毎週の道徳の授業等が充実していることを実感していることがうかがえる。</p>	<p>○ SST(ソーシャルスキルトレーニング)を継続していく。その中で、SSTの授業で扱った内容を、日々の生活の中で意識させる工夫を検討したい。(SST週間を企画し、自分自身の言動を振り返らせる機会を多く設ける、など)</p> <p>○ 道徳の授業のさらなる充実を図るべく、長期の休み等を利用した研修を企画したい。</p>	<p>○ 先生方の評価が低いという点は教師が成長を望むがゆえの評価と考えます。</p> <p>○ 生徒・保護者は、長いコロナ禍で自然とSSTができているのではないかと推察します。</p> <p>○ 道徳心も自然に備わってきていると思える。先生方の道徳教育が大きく影響していることであり評価できません。</p> <p>○ 一面的な見方かもしれませんが、あいさつや他人への配慮ができる生徒とそうでない生徒の二極化が見られるように感じます。</p>
			コミュニケーション能力の向上	2.7	3.2	3.2			
			道徳科の充実	2.9	3.6	3.2			
		総合評価	3.1						
確かな学力の育成 【知育】努力	諸テストの結果で前年度を上回る	項目ごとの評価	基礎基本の定着	3.0	3.3	3.0	<p>○ 基礎基本の定着については、三者とも3.0以上の評価になっている。</p> <p>○ 学習の主体性や家庭学習の取組については、生徒の評価に比べ低くなっている。取組の意識(目標)の程度の差ではないかと思われる。</p>	<p>○ 授業の中で基礎基本が定着できるよう、教師の授業力向上等の研修を充実し、学習内容の定着確認をスモールステップで実施する。</p> <p>○ 各教科から勉強の方法を紹介するモデルを、得意、不得意の生徒の実態に合わせてレベルごとに作成する。</p> <p>○ 生徒が家庭学習に主体的に取り組めるような自宅の仕組みを工夫する。</p>	<p>○ 生徒は自身で努力していると評価しているが、保護者と教師の評価は当然と考えます。</p> <p>○ 次年度に向けての改善策は大変評価できるが、言うまでもなく、生徒個々の環境等を踏まえて講じなくてはならないと思います。</p> <p>○ 主体的な学習意欲を育む点で職業講話は、コロナ禍の中で工夫された取組だと感じました。生徒の反応を直に見ることができなかったのは残念です。</p> <p>○ 家庭での学習の定着と学校におけるフォローアップは非常に重要です。</p>
			主体的に学習に取り組む態度の育成	2.8	3.3	2.9			
			家庭学習の充実	2.5	3.3	2.7			
		総合評価	3.0						
たくましく生きる心と体の育成 【体育】忍耐	(全学年3.3以上)の生活習慣について、生徒・保護者の評価	項目ごとの評価	体力と競技力の向上	2.9	3.3	3.2	<p>○ コロナ禍の影響もあり運動や行動の制限によって、外での活動が少なくなっていることも影響していると感じる。</p> <p>○ 家庭での生活習慣が乱れがちな状況もあり、十分な自己管理が出来ていないと、教師、保護者ともに感じているようである。</p> <p>○ 自己管理能力について生徒自身の評価が高いのに対して教師や保護者は低いととらえている。</p>	<p>○ 今年度も授業の中で補強運動に取り組んでいる。少しずつではあるが成果を感じている。次年度も継続して取り組んでいく。</p> <p>○ 学校保健委員会等でスマホ、タブレット、ゲーム等の影響を取り上げ家庭の意識を高めたい。</p> <p>○ 給食に関しては、しっかり食べていると思うが、好き嫌いがある生徒は増えている。成長期の栄養摂取についての理解を深めさせたい。</p>	<p>○ コロナ禍の制限が多い中で、先生方が心身発達の重要時期と捉え、改善策を講じているところは大変評価できる。</p> <p>○ 補強運動の成果というものが、どのようなものが具体的にわかりにくい。自己管理能力の評価の差がどこから来るのかを明確にしながら策を講じていただけるとよい。</p> <p>○ 食と体力に関しては、家庭での取組が重要かと思われます。</p>
			自己管理能力の向上	2.6	3.2	2.9			
			食育の推進	3.0	3.7	3.2			
		総合評価	3.1						
家庭・地域等との連携 【運携】	貢献活動に対する地域からの評価3.3	項目ごとの評価	家庭・地域への教育活動の公開	3.3	3.2	3.1	<p>○ 資源回収や地域での祭りが中止になり、生徒が地域に出ていく機会が減ったことや地域の人材を学校内に招へいするのが難しくなったことが大きく影響していると考える。</p> <p>○ まちづくり協議会等の会合も、中止が多くなったが、少ない機会に、学校での取組についてお知らせした。</p>	<p>○ 状況が改善されれば地区まつりをはじめとする地域への貢献活動を例年通り実施していく。</p> <p>○ 状況が改善されない中でも、感染症対策を講じた上で可能な範囲での実施を目指す。</p> <p>例) 外部講師によるリモートでの講話 →学校運営協議会に協力を仰ぎ、地域人材を紹介していただくなどする。</p> <p>人数を絞った上で、屋外で密にならないように地区公民館等での奉仕活動を行う。</p>	<p>○ 地域貢献については生徒自身に何ができるかを考えさせる機会を設けてもよいのではないのでしょうか。</p> <p>○ 本年度は、コロナ禍でできなかったことが多いですが、次年度に向けてこれまでと同様の計画をお願いします。</p> <p>○ 生徒の花植え等のボランティアについては、貢献いただき、大変感謝しております。</p> <p>○ 学校だより等の情報が滞り、学校の状況が分からず困ったので改善をお願いしたい。</p>
			地域人材の積極的活用	2.4	2.6	2.9			
			地域社会への貢献活動	2.5	2.6	2.6			
			大王小との連携の拡充	3.1	3.1	3.0			
		総合評価	2.9						